

事例 8 ICTを活用し学ぶ意欲を高める事例

- 学年 第5学年
- 主な内容 内容「C 消費生活・環境」(1)物や金銭の使い方と買物 ア(ア)(イ)イ
- 事例のポイント
 - ①具体的な買物の場面を想定することで、品物を選ぶときの視点を考えられるようにする。
 - ②教材を通して「買物三か条」を作成するという目的をもって取り組むことで、家庭実践につながる学びを深めるようにする。

ICTを活用した主な学習場面

- ・児童の考えを共有する場面
- ・家庭実践を共有する場面

ICT活用の利点

- ① ICT端末で集約した意見を可視化することで、学級全体の意見を共有することができ、多くの考えに触れることができる。
- ② 家庭実践の写真を撮り、共有することで、家庭実践への意欲をさらに高めることができる。

1 題材名 「生活を支える物とお金」

内容C (1)「物や金銭の使い方と買物」ア(ア)(イ)イ 第5学年

2 題材について

- (1) 児童について (省略)
- (2) 題材について

本題材は、内容「C 消費生活・環境」の(1)「物や金銭の使い方と買物」に関する題材である。物や金銭の大切さを理解し、買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方、身近な物の選び方や、買い方、情報の収集・整理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な物の選び方や買い方を工夫できるようになることをねらいとしている。

家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫して実践しようとする消費者の育成を行う。また、本題材は、中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 家庭分野内容 C消費生活・環境(1)「物や金銭の使い方と買物」にも発展していく。

- (3) 指導について

指導に当たり、第1時「買物の経験を振り返ろう」では、これまでの自分の生活との関連を振り返り、自分の視点と家族の視点の両方から見つめ直すことで学習への意欲を高め、題材のめあてを作成する。学習後の自分の目指す姿をポートフォリオに記入し、目的をもって学習に取り組むことができるようにする。

第2～4時「買物の仕方を考えよう」では、日常行っている買物が売買契約であることを理解させ、本当に必要かどうかをよく考えることや、十分に活用して最後まで使い切ることなど、消費者としての役割を理解させたい。そして、日常的な個人の消費活動が将来の社会の形成に大きく関わっていることについて考えさせたい。その際、現金を中心に上げ、身近な物を実際に購入する場面を想定することで、児童がそれぞれの価値判断に基づき、複数の中から必要なものを選択することでよりよい意思決定ができるようにしていく。環境への配慮については、これまでの社会科の学習等の既習事項から、児童から出てきた発言を広めることで、教科等横断的な指導ができるようにする。

第5、6時「これからの生活に生かそう」では、今後の調理実習で必要な材料を購入する場面を位置付け、これまでに学習してきた買物の仕方を基に、計画を立てて家庭実践を行い、振り返ることができるようにする。題材全体を通して、ICT端末を活用し、自分や友達の考えを比較しながら学習に意欲的に取り組むことができるようにする。

3 題材の目標

- (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。また、身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。〈知識及び技能〉
- (2) 身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 - 身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。	身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 題材の指導と評価の計画（6時間扱い）

〔1〕 買物の経験を振り返ろう	1 時間
〔2〕 買物の仕方を考えよう	（本時 3 / 3） 3 時間
〔3〕 これからの生活に生かそう	2 時間

小 題 材	時 間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
買物の経験を振り返ろう	1	○今までの生活経験を振り返り、普段の生活の中でどのような買物をしてきたか考える。 ・普段の生活の中でどのような物やことにお金を使っているか考える。 ・家族が買物をする時の工夫や気を付けていることは何か考える。 ・消費者の役割や物や金銭の大切さを考える。	①消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さについて理解している。（ワークシート）	① 身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。（ポートフォリオ）	

ICT活用の利点①

編 P122 指導計画
作成の留意事項(2)

買物の仕方を考えよう	2	○物の選び方について考えることができる。 ・物や金銭の計画的な使い方について考える。 ・買物の仕組みについて考える。 【買物三か条 第一か条】	②買物の仕組みが分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 (ワークシート)		①物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート、行動観察)
	3	・身近な物の選び方や買い方について考える。 【買物三か条 第二か条】	③身近な物の選び方、買い方について理解している。 (ワークシート)		
	4 本時	・購入するために必要な情報の収集・整理について考える。 【買物三か条 第三か条】	④購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (ワークシート)		
事例のポイント②第2～4時					
これからの生活に生かそう	5	○家庭での実践の計画を工夫して立てる。 ・調理実習で使用する材料を購入する計画を立てる。 編 P122 指導計画作成の留意事項(7)		②身近な物の選び方、買い方について、工夫している。 (実践計画)	②物や金銭の使い方と買物について、実践しようとしている。 (ワークシート)
	○実践計画を基に、家庭で実践する。				
	6	○家庭で実践したことを評価したり、改善したりする。 ・家庭で行った実践を振り返り、計画で工夫したことなどを評価する。 ICT活用の利点②		③身近な物の選び方・買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 (実践計画、行動観察)	③物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (ワークシート、ポートフォリオ)

6 本時の学習指導（本時 4／6）

- (1) 目標 購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。〈知識及び技能〉
 (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点（・）評価規準（◇） 【評価の観点】（評価方法） 手立て（→）
7	1 前時の学習内容を振り返る。	・これまでに作成してきた自分自身の買物三か条の第二か条めまでを振り返り、想起できるようにする。 ・買物は「売買契約」という契約であることを振り返ることで、買物が責任のある行動であることの意識がもてるようにする。
	2 ノートの種類を確認し、自分の使いたいノートを I C T 端末で選択する。	・値段・品質・分量・デザインの異なる 4 種類のノートから、初見で自分が購入したいと思うノートを選択できるようにする。 ・ノートの実物を提示することで、商品の詳細を確認できるようにする。 ①キャラクターノート 1 冊 2 4 0 円 （自分の好きなキャラ） ②セール品のノート 1 冊 9 8 円 ③セール品のノート 5 冊セット 2 9 8 円 ④エコマーク・JIS マーク付きのノート 1 冊 1 8 5 円
	I C T 活用の利点①	・ I C T 端末で入力したものを学級全体で共有することで、友達の意見に触れることができるようにする。 ・選んだ理由を発表させ、普段どのようなことを大切にしてノートを選択しているかを共有することで、本時に関する課題を見いだすことができるようにする。
10	3 学習課題を設定する。 ・学習課題の把握	学習課題 品物の選び方を考えよう。
	4 具体的な買物場面から、買物メモを作成し、商品選択の観点を考える。	・模擬買物の場面を設定し、買物メモを作成することで、計画的な買い方について理解できるようにする。
	事例のポイント①	模擬買物の場面 目的：自主学習ノートで使用する 5mm 方眼のノート（家には一冊もない） 購入場所：近所の文房具屋 予算：現金 3 0 0 円（自分のお小遣いで購入し、余った分は自分のものになる）
	5 情報を比較してどのノートを選ぶか、自分の意見をワークシートに記入する。	・理由を記入することで、どの視点で選んだのかを明確にできるようにする。
7	6 グループと学級全体で意見を共有し、ノートを選ぶ時の観点を確認する。	・グループと学級全体で意見と理由を共有する。その際、合意形成ではなく、自分自身が商品を選んだ理由を大切にすることを伝える。 ・環境について着目している児童がいた場合には、これまでに社会科で学習してきたマークの情報を共有することで、環境への意識がもてるようにする。
	編 P122 指導計画作成の留意事項(2)	編 P122 指導計画作成の留意事項(3)

8	7	最終的に、どのノートを選ぶか考え、ワークシートに記入する。	・ノートを選ぶときに必要な観点を値段だけでなく、品質や分量、デザイン、長期的に活用できる商品なのかなど様々な観点を基に物を選ぶ必要があることを考えさせ、買物をする時に大切にすることについて理解することができるようにする。
			・学習したことを踏まえて、自分自身が最終的にどのノートを使いたいかを考えさせることで、理由を明確にして選択できるようにする。 ・理由が明確であれば、先ほど選択したものと同じものでもよいことを知らせる。
			購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【知識・技能】④（ワークシート）
			おおむね満足できる状況（B） 品物の値段と分量、自分で選んだ品物と理由をワークシートに書くことができる。 →品物を選ぶ視点に注目させ、自分だったらどのノートを選ぶか考えることができるようにする。
7	8	学級全体で再度意見を共有する。	・再度、I C T端末でワークシートに記入したノートを選択させ、結果を学級全体で共有することで友達の意見に触れることができるようにする。
			I C T活用の利点① 最初に選択した物と変わった場合は、なぜ変わったのかを発表することで、買う目的・買う方法・予算が変われば選ぶ品物が変わることを理解できるようにする。 ・買物は消費者としての責任のある行動であり、自分自身の意思表示であることを伝える。
6	9	本時の学習をまとめる	・買物三か条の第三か条目を考えることで、自分自身のまとめとする。
			事例のポイント②
10	振り返りをする。		・本時の学習を振り返ることで、家庭での実践に生かしていきたいという意欲を高める。

7 学習評価の具体例〈ワークシートの一部〉

買い物名人になろう④

名前 _____

買った物メモ

	品物	値段	分量	その他
①				
②				
③				
④				

①自分が選んだノートに丸を付けましょう。

①キャラクターノート 240円	②セールのノート 98円	③5冊セット 298円	④エコマーク・JIS マーク付きのノート 185円
--------------------	-----------------	----------------	---------------------------------

理由 _____

②最終的に購入したいノートに丸を付けましょう。

①キャラクターノート 240円	②セールのノート 98円	③5冊セット 298円	④エコマーク・JIS マーク付きのノート 185円
--------------------	-----------------	----------------	---------------------------------

理由 _____

【知識・技能】④

※「十分満足できる」状況（A）と判断した児童の具体的な例

5冊セットで購入すると、一冊あたりの値段が安い。そして、何度も買いに行かなくていいので5冊セットがいいと思いました。友達の意見を聞いて、環境について考えているエコマーク・JISマーク付きのノートもいいと思ったけれども、やはりもう一度考えてみて、5冊セットが一番お得なので選びました。

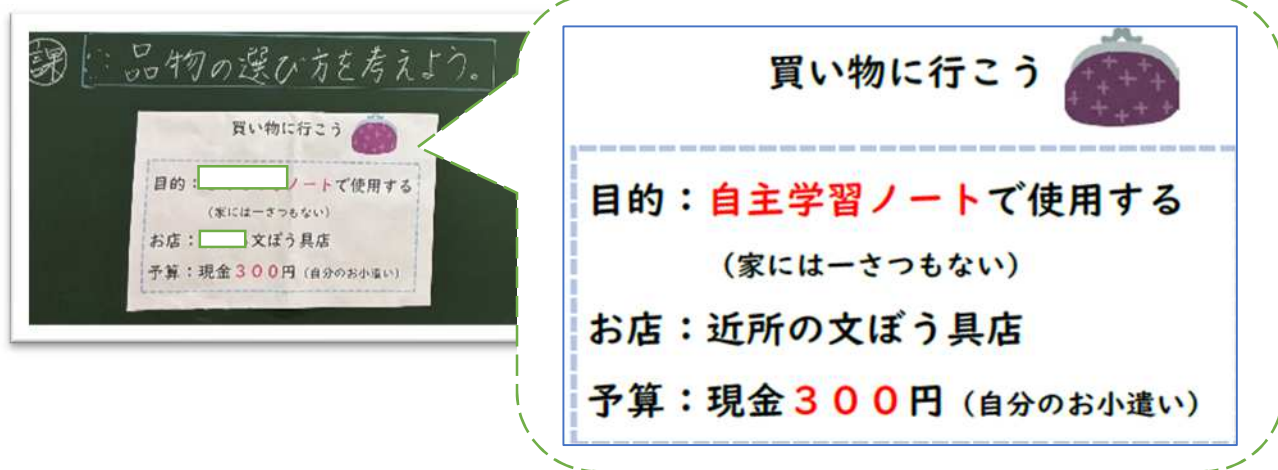
なぜそのノートを購入することにしたのかを記述していることや、話し合いを通して再度考えたことを記述していることから、「おおむね満足できる」状況（B）を上回る「十分満足できる」状況（A）と判断した。

8 指導の実例

事例のポイント① (4/6時)

具体的な買物の場面を想定することで、品物を選ぶときの視点を考えられるようにする。

【板書の一部】



品物の選び方を考えよう。

買い物に行こう

目的：自主学習ノートで使用する
(家には一さつもない)

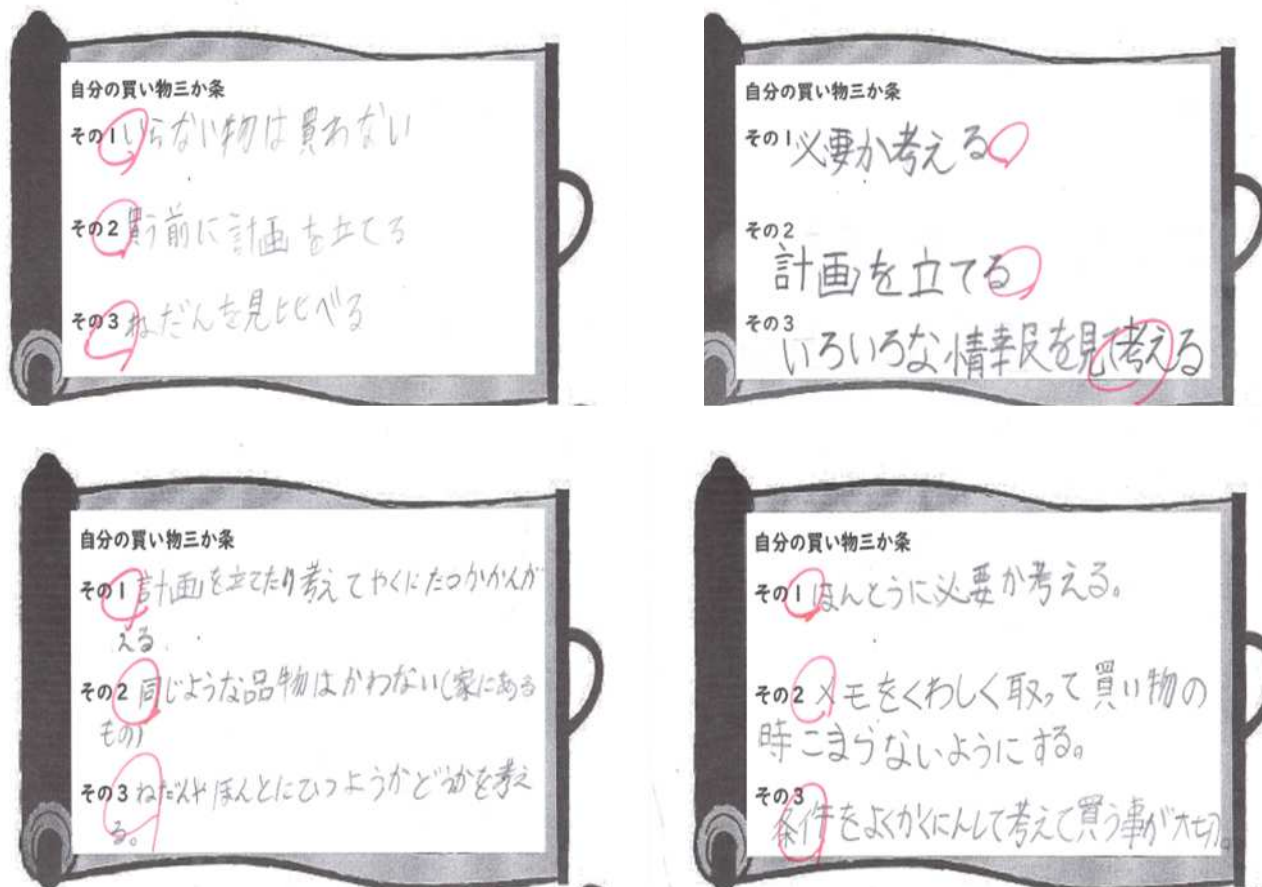
お店：文ぼう具店

予算：現金300円 (自分のお小遣い)

事例のポイント② (4/6時)

自分自身の買物三か条を作成することで、家庭実践への意欲を高めることができるようにする。

【児童のワークシートの一部】



自分の買い物三か条

その1 いらない物は買わない

その2 買う前に計画を立てる

その3 ねだんを見比べる

自分の買い物三か条

その1 必要か考える

その2 計画を立てる

その3 いろいろな情報を見(考える)

自分の買い物三か条

その1 計画を立てたり考えてやくにたつかが入る。

その2 同じような品物はかわない(家にあるもの)

その3 ねたもほとんどにひつようかどうかを考える。

自分の買い物三か条

その1 ほんとうに必要か考える。

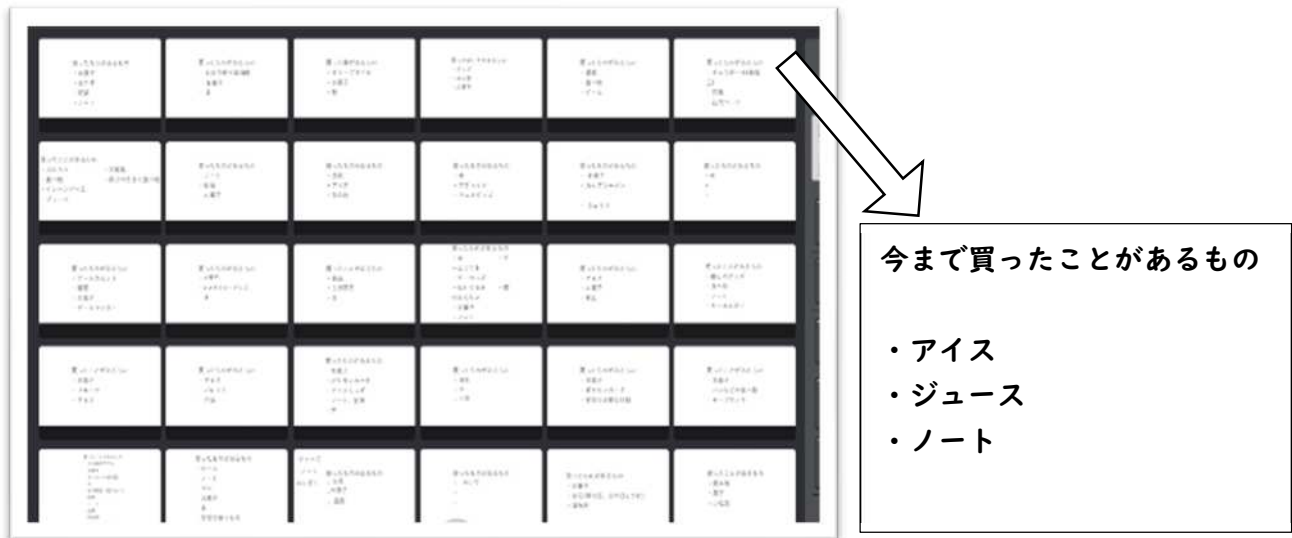
その2 メモをくわしく取って買い物の時こまごましないようにする。

その3 条件をよくかきにして考えて買う事が大切。

I C T活用の利点① （第1・4・6／6時）

I C Tを活用し、友達の見解に触れことができるようにする。

第1時では、買物の経験を振り返る際に一人一人の買い物の経験を全員で共有した。友達の見解を見ることで、それぞれの経験を比較しながら、課題設定をすることができた。



第4時では、自分が購入したい商品をI C T端末で選択し、学級全員の意見をグラフ化した。共有することで友達のかえに触れることができた。また、学習の前と学習の後でグラフを比較することで、視覚的に変化を捉えることができた。

